

れいわななねん
令和七年 十一・十二月の詩

あきのそら

こねずみしゅん

くぬぎばやしで

どんぐりを

だいていたら

かぜが ひゅうと

とおりすぎました

みあげると

こえだを すかして

あおいそらが みえました

きれいだよ きれいだよ と

なんかいも いいたくなる

あおい そらでした

しんこきゅうしたら

こころの なかもで

そらいろに そまりました

『のはらうた』

▽

工藤直子

童話屋

おもいかんだえやイラストをかいてみましょう。